

2025年2月6日

各位

会社名 ア ス ク ル 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 CEO 吉岡 晃
(コード番号:2678 東証プライム)
問合せ先
役職・氏名 取締役 CFO 玉井 継 尋
TEL 03-4330-5130

その他の関係会社の決算に関するお知らせ

本日、当社のその他の関係会社である LINE ヤフー株式会社（本店所在地：東京都千代田区紀尾井町1-3、代表者：代表取締役社長 CEO 出澤 剛）より、2024年度第3四半期 決算説明会 プレゼンテーション資料が発表されましたが、その資料に当社に関する記載がありましたので、該当ページに関し別添のとおりお知らせいたします。

添付資料中、当社の業績に関する記載がございますが、以下のとおり LINE ヤフー株式会社と当社の各連結会計期間は異なり、また、両社の会計基準等の違い※により当社が公表する決算数値とは合致いたしません。

※当社は日本基準、LINE ヤフー株式会社は IFRS を会計基準に適用

連結会計期間	LINE ヤフー株式会社	当社
第3四半期	2024年10月1日～2024年12月31日	2024年11月21日 ～2025年2月20日
	・添付資料中1ページ目および3ページ目に記載の調整後 EBITDA 増減額 ・添付資料中2ページ目に記載のアスクル BtoB 事業（インターネット経由）の四半期売上高 ・添付資料中4ページ目に記載のアスクル連結四半期売上高	

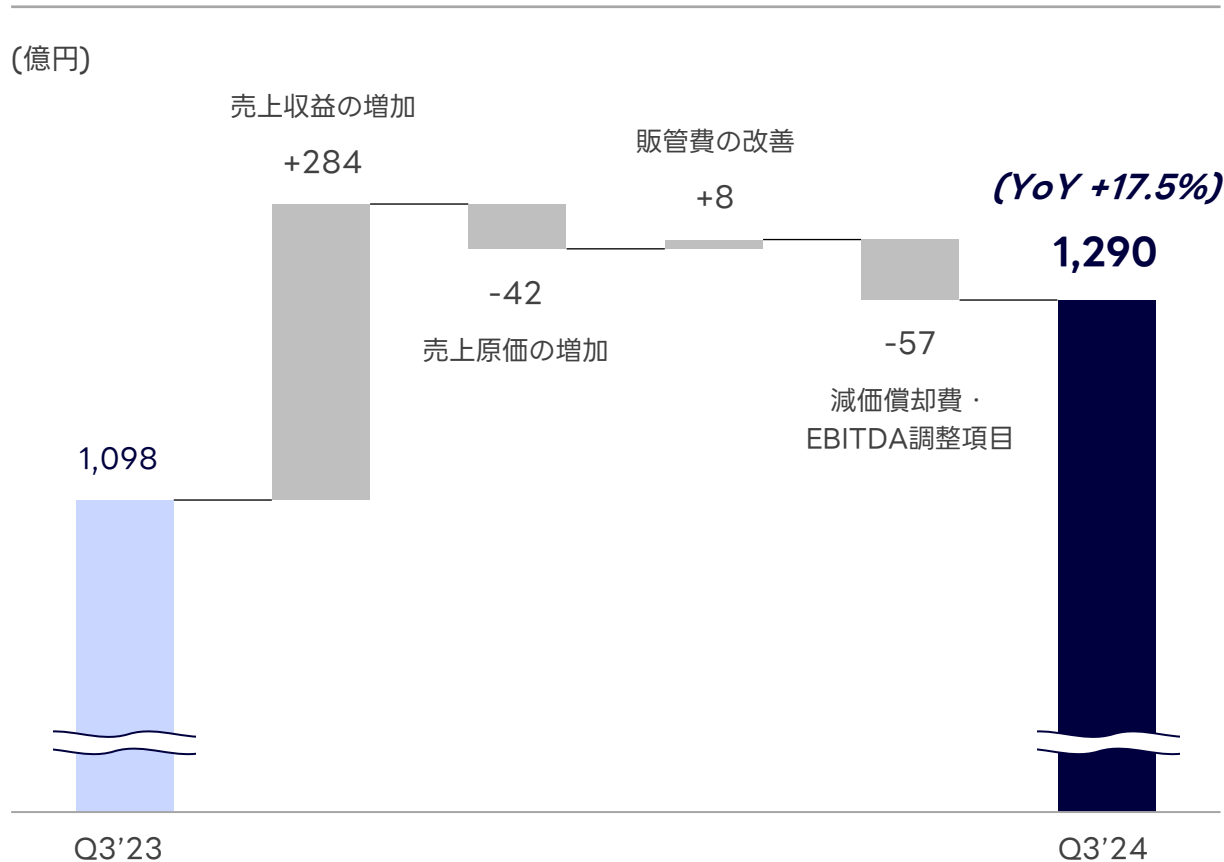
別添 LINE ヤフー株式会社 2024年第3四半期 決算説明会プレゼンテーション資料（抜粋）

(注)2024年11月20日時点で LINE ヤフー株式会社は当社発行済株式総数の45.79%を所有しております。

以上

各セグメントの売上成長と規律あるコスト投下により増益

調整後EBITDA¹増減分析



売上収益: +284億円

- メディア (+60億円): アカウント広告が成長
- コマース (+68億円): ZOZO、アスクル、Yahoo!ショッピングが成長
- 戦略 (+145億円): PayPay連結、LINE Pay台湾が成長

売上原価: +42億円

- メディア (+34億円): ebookjapan、dely、LINEスタンプが増加
- コマース (-2億円): バリューコマース、IPXの非連結化による減少
- 戦略 (+8億円): PayPay銀行が増加

販管費: -8億円

- 販売促進・広告宣伝費 (+13億円): 主にYahoo!ショッピング向けの販促費が増加
- その他販管費 (-21億円): 主に為替差益の計上及び使用権資産償却費が減少

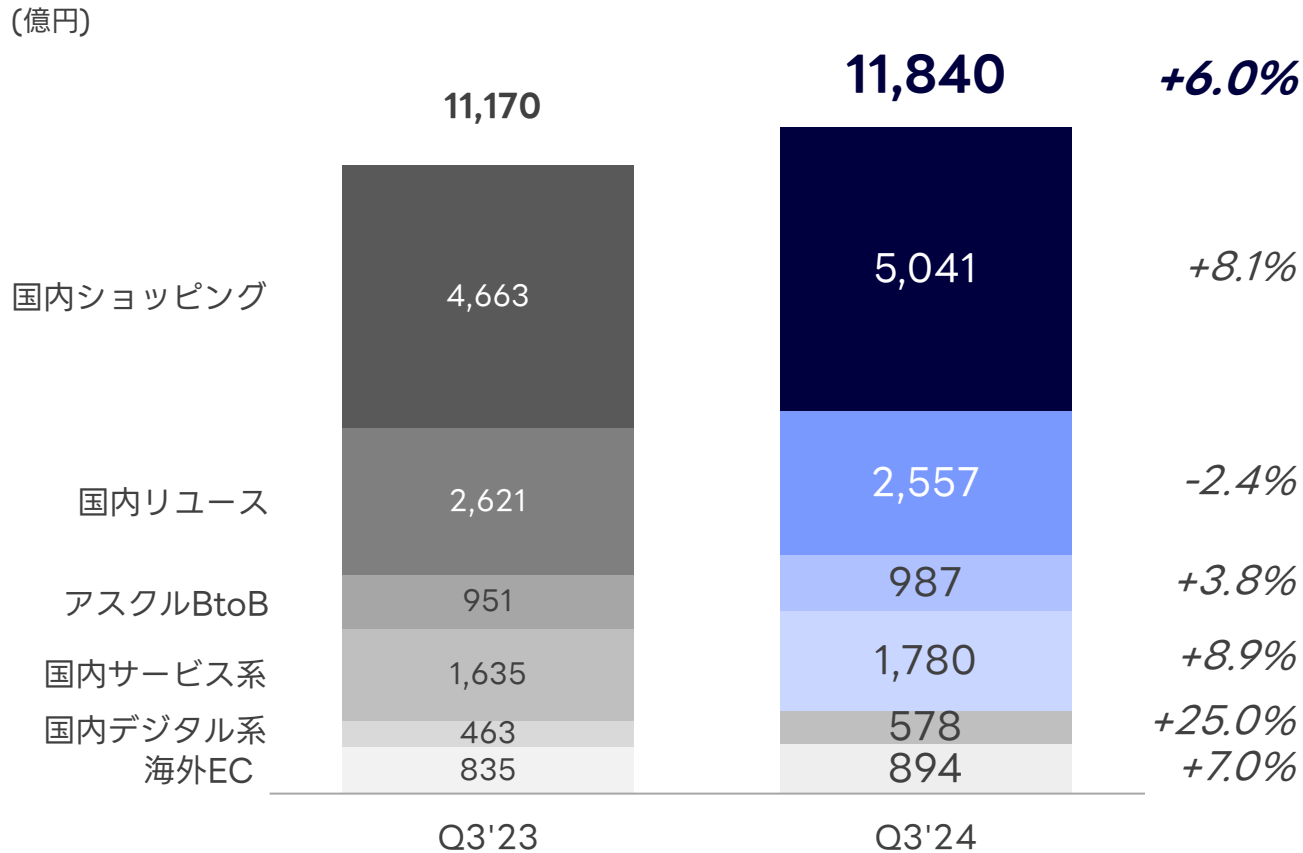
減価償却費及びEBITDA調整項目: +57億円

- 主に株式報酬費用及び使用権資産償却費が減少

1. 調整後EBITDA: 営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± EBITDA調整項目。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加

Yahoo!ショッピングはYoY+9.5%、トラベルはYoY+25.1%の成長

全社 eコマース取扱高¹



国内ショッピング: +377億円

- 主に11月と12月に実施した販促施策が好調だったことや、12月からYahoo!ふるさと納税が開始したことなどで注文者数・注文単価が伸長し、Yahoo!ショッピングの取扱高はYoY+9.5%の成長

国内リユース: -63億円

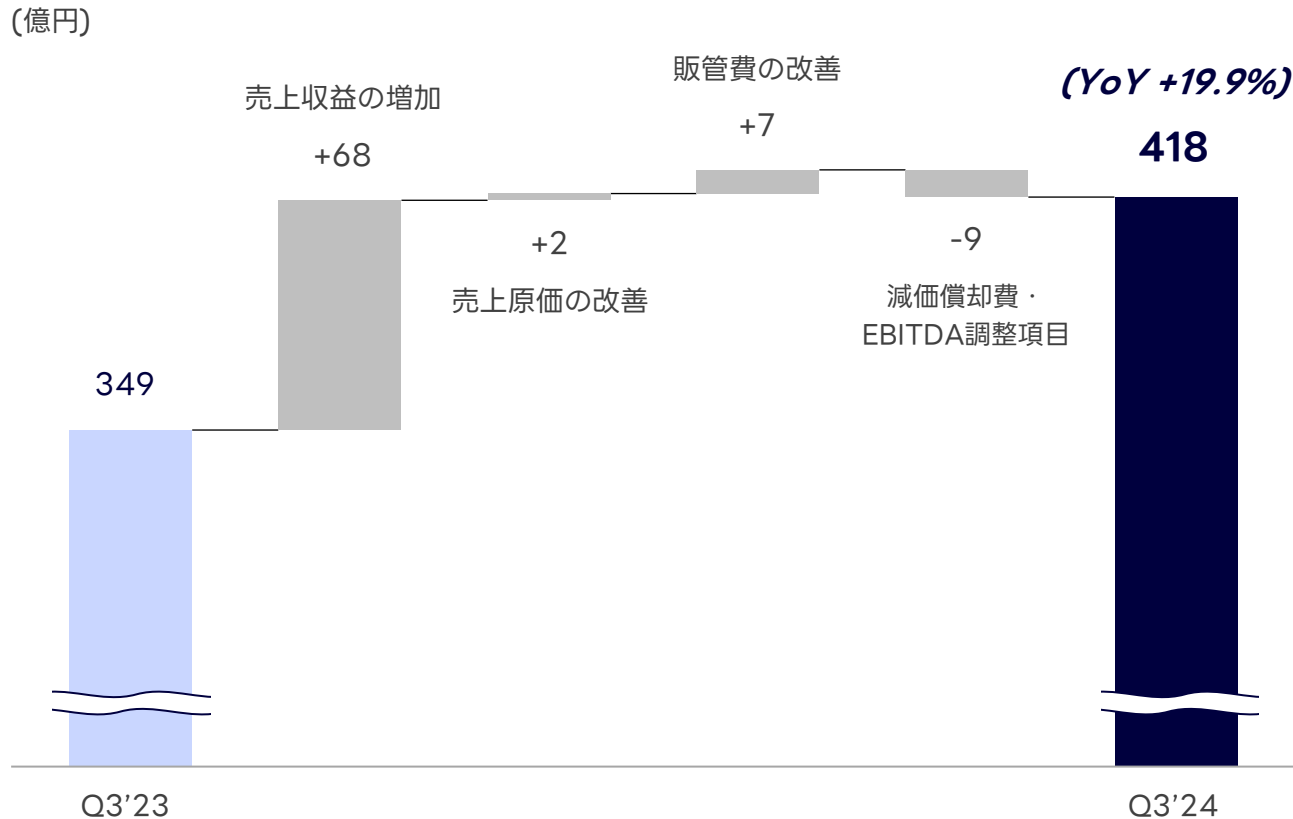
- Yahoo!フリマの取扱高はYoY+2桁%と好調な着地となったが、Yahoo!オークションの取扱高は落札者数が伸びずYoYで減少

国内サービス: +144億円

- トラベルは予約数が増加し、YoY+25.1%の成長

各プロダクトの増収により増益

調整後EBITDA¹増減分析



売上収益: +68億円

- ZOZO、アスクル、Yahoo!ショッピング、リユース、トラベルが増加

売上原価: -2億円

- アスクルの売上原価は増加したものの、バリューコマースやIPXの非連結化により改善

販管費: -7億円

- 販売促進・広告宣伝費 (+17億円): 主にYahoo!ショッピングやトラベルの販促費が増加
- その他販管費 (-24億円): 主にバリューコマースやIPXの非連結化による改善

減価償却費及びEBITDA調整項目: +9億円

1. 調整後EBITDA: 営業利益 + 減価償却費及び償却費 ± EBITDA調整項目。EBITDA調整項目: 営業収益・費用の内、非経常かつ非現金の取引損益 (固定資産除却損、減損損失、株式報酬費用、企業結合に伴う再測定益、その他現金の流出が未確定な取引 (一時的な引当金等) 等)。また、一部ファンドの保有株式の売却損益。2022年度第3四半期より定義を変更。減価償却費及び償却費に一部の賃借料を、EBITDA調整項目に一部ファンドの保有株式の売却損益を追加

業績概況(P/L)

(百万円)

	FY2023 Q3 ^{1,2,3}	FY2024 Q3 ^{1,2,3}	YoY
売上収益	218,979	225,828	+3.1%
LINEヤフー	41,447	44,092	+6.4%
ショッピング事業	22,994	22,380	-2.7%
リユース事業	9,517	11,168	+17.3%
サービスEC事業	8,646	10,058	+16.3%
その他	288	484	+68.0%
ZOZO、アスクル⁴	177,532	181,736	+2.4%
売上原価	96,928	96,646	-0.3%
販管費	105,631	104,914	-0.7%
販売促進費・広告宣伝費	24,203	25,964	+7.3%
その他販管費	81,427	78,949	-3.0%
その他収益及び費用	1,003	-	-100.0%
調整後EBITDA/マージン	34,942 (16.0%)	41,886 (18.5%)	+19.9%

1. FY23Q3に、コマース事業に区分されていた会員サービス事業をメディア事業に移管。また、その他事業に区分されていた、メールサービスをメディア事業に移管。これに伴い、FY22、FY23Q1、Q2の業績を遡及修正
2. FY23Q3に、調整額に計上されていた、スタッフ部門、テクノロジー部門の person 費、データセンターおよび社内インフラに関わる費用を各セグメントに配賦。加えて合併に伴う、計上科目の変更を反映。これに伴い、FY22、FY23Q1、Q2の業績を遡及修正
3. FY24Q3に、メディア事業に区分されていた一休.com レストラン、および PayPay グルメのサービスをコマース事業に移管。これに伴い FY23、FY24Q1、Q2の業績を遡及修正
4. 当社子会社である Zホールディングス中間(株)は、バリューコマース(株)が2024年3月12日~4月9日まで実施した自己株式の公開買付けに応募し、当該公開買付けが成立。バリューコマース(株)は2024年5月2日に当社の持分法適用関連会社へ移行したことから、以降、バリューコマース(株)のサービスを含まない

項目	内訳
LINEヤフー	—
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「LINEブランドカタログ ¹ 」、「LINE FRIENDS」、「LINEギフト」、「Yahoo!クイックマート ² 」、海外EC（「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「EZ STORE」、「QUICK EC」、「MyShop」、その他)
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」
サービスEC事業	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「LINEトラベル (台湾)」、その他
その他	その他
ZOZO、アスクル	—
ZOZO	「ZOZOTOWN」、「ZOZOUSER」、その他
アスクル	アスクルBtoB事業（「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」、その他）、「LOHACO」、「チャーム」、その他
その他	その他

1. 「LINEショッピング」は2024年8月20日から「LINEブランドカタログ」にサービス名称を変更

2. 2024年8月13日から「Yahoo!クイックマート」のサービスを開始

項目	主なサービス・商品
eコマース取扱高	—
国内物販系取扱高	—
ショッピング事業	「Yahoo!ショッピング」、「ZOZOTOWN」、「LOHACO」、「チャーム」、「LINEブランドカタログ ¹ 」、「LINEギフト」、「LINE FRIENDS」、「Yahoo!クイックマート ² 」
リユース事業	「Yahoo!オークション」、「Yahoo!フリマ」、「ZOZOUSÉD」
アスクルBtoB事業 (インターネット経由)	「ASKUL」、「SOLOEL ARENA」、「APMRO」、「FEEDデンタル」等
国内サービス系取扱高	「Yahoo!トラベル」、「一休.com」、「出前館」
国内デジタル系取扱高 ³	「ebookjapan」、「LINEマンガ」、「LINE MUSIC」、「LINEスタンプ」、「LINE GAME」、「LINE占い」、その他有料デジタルコンテンツ
海外EC取扱高	「LINE SHOPPING (台湾・タイ)」、「GIFTSHOP」、「EZ STORE」、「QUICK EC」、「MyShop」、「ZOZOFIT」、「LINE FRIENDS」、「LINEトラベル」、「LINE MAN」、「LINEスタンプ ³ 」、「LINE GAME ³ 」、「DOSI ⁴ 」

- 「LINEショッピング」は2024年8月20日から「LINEブランドカタログ」にサービス名称を変更
- 2024年8月13日から「Yahoo!クイックマート」のサービスを開始
- 当該サービスの収益は、メディア事業セグメントに計上
- グローバルNFTプラットフォーム。当該サービスの収益は、戦略事業セグメントに計上